

# 検査値の見方

2024年度版 Ver.1

患者様へ

- 記載されている基準値は、県北医療センター高萩協同病院の基準値となります。
- 検査結果の左側についている記号  
「L」は基準値より低い、「H」は基準値より高いことを意味しています。
- 診断は尿や血液の検査結果だけでなく、病状やほかの検査など総合的になされます。
- この冊子に記載されている検査の意味や内容に関しては一般的に言われていることとあり、全ての患者様に該当するとは限りません。ご不明な点は主治医にご相談ください。

生化学項目	名称	基準範囲	単位	検査内容
TP	総蛋白	6.6 - 8.1	g/dL	蛋白異常症の検査、生体異常スクリーニング検査 血液中に含まれる蛋白の総量です。この項目のみで蛋白異常症は診断できないため、他検査と共に総合的に判断します。
ALB	アルブミン	4.1 - 5.1	g/dL	栄養状態、初老症候群の検査 総蛋白のうち最も多い成分であり、肝臓で合成されるため肝機能の指標、また蛋白代謝上輸送体として栄養状態を表しています。
A/G	アルブミン/グロブリン比	1.32 - 2.23		蛋白異常症の検査 アルブミンとグロブリンを比で表した数値です。双方の増減から生体異常の有無を知ることができます。
BUN	尿素窒素	8 - 20	mg/dL	腎臓疾患の検査 蛋白質が身体の中で分解される時にできる老廃物で腎臓から排出されず、腎機能障害の時に上昇します。
CRE	クレアチニン	男 0.65 - 1.07 女 0.46 - 0.79	mg/dL	腎臓疾患の検査 アミノ酸の一種であるクレアチンが代謝されたあとの老廃物です。筋肉量が多いほどその量も多くなり男女差があります。腎機能障害の時に上昇します。
UA	尿酸	男 3.7 - 7.8 女 2.6 - 5.5	mg/dL	高尿酸血症、痛風の検査 蛋白質の一種であるプリン体という物質が代謝されたあとの老廃物です。高い状態が続くと痛風発作を起こします。
Na	ナトリウム	138 - 145	mEq/L	水・ナトリウム代謝の検査 身体の水分の保持や浸透圧を調整します。
K	カリウム	3.6 - 4.8	mEq/L	電解質異常の検査 神経や筋肉の動きを調整します。
Cl	塩素	101 - 108	mEq/L	電解質異常の検査 身体の水分の保持や浸透圧を調整します。
Ca	カルシウム	8.8 - 10.1	mg/dL	カルシウム代謝異常の検査 歯や骨の形成、神経・筋肉の興奮、血液凝固などに関与するミネラルです。
IP	無機リン	2.7 - 4.6	mg/dL	リン代謝異常の検査 カルシウムとともに測定することにより、内分泌疾患や骨代謝異常をきたす疾患を推測することができます。
AMY	アミラーゼ	44 - 132	U/L	膵臓疾患、アミラーゼ産生腫瘍の検査 膵臓や唾液腺から分泌される消化酵素です。急性膵炎、慢性膵炎や耳下腺炎で上昇します。
ALP	アルカリフォスファターゼ	106 - 322	U/L	肝臓・胆道疾患、骨疾患の検査 主に肝臓・骨・小腸・胎盤などに含まれる酵素です。肝疾患や骨疾患などの指標となります。小児では高値になります。
γ-GT	γ-グルタミルトランスアミナーゼ	男 13 - 64 女 9 - 32	U/L	肝臓・胆道疾患の検査 肝臓や胆道系に障害があると上昇する酵素です。アルコール性肝障害などの指標になります。
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	13 - 30	U/L	肝臓疾患の検査 肝臓・骨格筋・心筋・赤血球に含まれる酵素です。肝臓疾患、心筋梗塞などで上昇します。
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ	男 10 - 42 女 7 - 23	U/L	肝臓疾患の検査 主に肝臓に存在する酵素です。肝疾患(肝炎、肝硬変など)で上昇します。
LD	乳酸デヒドロゲナーゼ	124 - 222	U/L	肝臓疾患、心臓疾患の検査 体内の臓器に最も広く存在し、肝臓・心臓・腎臓のほか、筋肉や血液にも多く存在する酵素です。これら臓器の疾患で上昇します。
CK	クレアチンキナーゼ	男 59 - 248 女 41 - 153	U/L	筋疾患の検査 心筋や骨格筋に存在する酵素です。急性心筋梗塞、筋疾患で上昇します。また、運動後に高値になる傾向があります。
CK-MB	クレアチンキナーゼMB分画	12 以下	U/L	心筋梗塞の検査 心筋由来のクレアチンキナーゼの蛋白量です。心筋障害や急性心筋梗塞で上昇します。
CHE	コレステラーゼ	男 240 - 486 女 201 - 421	U/L	肝臓疾患の検査 肝臓で合成される酵素です。肝機能低下や低栄養状態で低下します。過栄養性脂肪肝の場合などに上昇します。
T-BIL	総ビリルビン	0.4 - 1.5	mg/dL	肝臓・胆道疾患、黄疸の検査 赤血球を分解し体外に排出する過程で作られる物質です。肝胆道系疾患で上昇します。黄疸の有無がわかります。
D-BIL	直接ビリルビン	0.4 以下	mg/dL	肝臓・胆道疾患の検査 肝臓で処理を受けた後のビリルビンです。肝細胞障害や肝内胆汁うっ滞、閉塞性黄疸時に上昇します。

T-CHO	総コレステロール	142 - 248	mg/dL	脂質代謝異常の指標検査 血液中の脂肪分のひとつで、細胞や細胞膜をつくるうえで大切なものです。肝臓で合成されるため、肝機能障害はT-CHO濃度に影響します。
TG	中性脂肪	男 40 - 234 女 30 - 117	mg/dL	脂質代謝異常の指標検査 体内で最も多い脂肪成分です。食事によって摂取される脂肪の殆どはTGで、食後に上昇します。早朝空腹時採血が推奨されています。
HDL-C	HDLコレステロール	男 38 - 90 女 48 - 103	mg/dL	脂質代謝異常の指標検査 善玉コレステロールと呼ばれる脂肪分です。低値になると動脈硬化になりやすくなり心筋梗塞や冠動脈疾患の原因となります。
LDL-C	LDLコレステロール	65 - 163	mg/dL	脂質代謝異常の指標検査 悪玉コレステロールと呼ばれる脂肪分です。高値が続くと心筋梗塞や冠動脈疾患の原因となります。
Fe	鉄	40 - 188	μg/dL	貧血の鑑別検査 Feは骨髄の赤芽球に送られ血色素(ヘモグロビン)の原料となります。低下すると鉄欠乏性貧血の原因となります。
UIBC	不飽和鉄結合能	男 111 - 255 女 137 - 325	μg/dL	貧血の鑑別検査 鉄と同時に測定することで貧血をはじめとする鉄代謝異常を推測できます。
フェリチン	フェリチン	男 22 - 275 女 5 - 204	ng/mL	鉄欠乏または鉄過剰の把握検査 鉄を貯蔵する蛋白です。肝臓・脾臓・胎盤などで産生され、鉄代謝の指標のひとつとして利用しています。
CRP	C反応性蛋白	0.14 以下	mg/dL	各種炎症、組織破壊などの検査 炎症時に急速に増加する急性反応物質のひとつです。
Glu	血糖	73 - 109	mg/dL	高血糖症、低血糖症の検査 血液中のブドウ糖で、I源として全身で利用されます。空腹時採血で血糖が $\geq 126$ mg/dLかつHbA1cが $\geq 6.5\%$ なら糖尿病が疑われます。
HbA1c	ヘモグロビンA1c	4.9 - 6.0	%	血糖コントロールの指標検査 糖尿病の診断や血糖コントロールの指標に用いられ、過去1~2か月の血糖値を反映します。
NH3	アンモニア	26 - 73	μg/dL	肝臓疾患の検査 アミノ酸の代謝産物のひとつで肝臓・腎臓・腸管で産生されます。肝臓の代謝機能が低下すると高値になります。
eGFR	糸球体濾過量	60 以上	mL/min/ 1.73m <sup>2</sup>	腎臓機能の指標 血清クレアチニンと年齢、性別から計算して求めた指数です。低値になると腎機能障害が疑われます。

尿項目	名称	基準範囲	単位	検査内容
pH	pH	5.0 - 8.0		腎臓・尿路系疾患スクリーニング検査 尿の酸性・アルカリ性を表します。食物や各種疾患によっても変動します。
比重	比重	1.005 - 1.030		腎臓・尿路系疾患スクリーニング検査 尿の濃縮度を見る検査です。
蛋白質	蛋白質	(-)		腎臓・尿路系疾患スクリーニング検査 尿中蛋白質の有無を調べる検査です。陽性になる原因は様々です。腎臓疾患のみならず全身状態を把握するために重要な検査です。
糖	糖	(-)		糖尿病のスクリーニング検査 尿中ブドウ糖の有無を調べる検査です。ブドウ糖尿=糖尿病ではないので、糖尿病診断の場合は血糖やHbA1cの血液検査が必要です。
潜血	潜血	(-)		血尿・ヘモグロビン尿をきたす疾患のスクリーニング検査 尿中ヒト赤血球の有無を調べる検査です。新鮮尿で検査するのが原則です。
ケトン体	ケトン体	(-)		糖尿病の病態把握と経過観察検査 尿中ケトン体の有無を調べる検査です。糖質の利用障害等で陽性になります。新鮮尿で検査するのが原則です。
ウレリゲン	ウレリゲン	(+/-)		肝臓・胆道系疾患スクリーニング検査 尿中ウレリゲンの有無を調べる検査です。排出量の日内変動が大きく、個人差(飲酒・運動など)も大きいです。新鮮尿で検査する必要があります。
ビリルビン	ビリルビン	(-)		肝臓・胆道系疾患スクリーニング検査 尿中直接ビリルビンの有無を調べる検査です。黄疸の鑑別に有用で、ビリルビンは光により分解されるため、新鮮尿で検査することが重要です。
亜硝酸塩	亜硝酸塩	(-)		尿路感染症のスクリーニング検査 尿中の細菌(一部)の有無を調べる検査です。細菌の種類によっては反応しません。
白血球	白血球	(-)		尿路感染症のスクリーニング検査 尿中の白血球(主に好中球)の有無を調べる検査です。膀胱炎、尿道炎、腎盂腎炎、前立腺炎などで陽性になります。

血清項目	名称	基準範囲	単位	検査内容
AFP	α-フetoプロテイン	10.0 以下	ng/mL	悪性腫瘍診断補助検査 肝細胞癌から出現する糖蛋白です。原発性肝細胞癌の診断有効です。
CEA	癌胎児性抗原	5.0 以下	ng/mL	悪性腫瘍診断補助検査 消化器系癌や膵癌、肺癌など様々な臓器由来の癌に幅広く出現する糖蛋白です。肝炎や潰瘍性大腸炎で偽高値になることがあります。
CA19-9	CA19-9	37.0 以下	U/mL	悪性腫瘍診断補助検査 膵臓癌や胆道癌に高い陽性率を示す糖鎖抗原です。胃癌、大腸癌などでも高値になることがあり、膵炎などでも偽高値となることがあります。
CA125	CA125	0.0 - 35.0	U/mL	悪性腫瘍診断補助検査 主に卵巣癌に有効な血中腫瘍マーカーです。 子宮内膜症と子宮筋腫の鑑別にも用いられます。
TSH	甲状腺刺激ホルモン	0.35 - 4.94	μU/mL	甲状腺機能異常のフォローアップ検査 甲状腺から分泌されるホルモンです。バセドウ病などの甲状腺機能亢進症で高値となります。
FT-3	遊離トリヨードサイロニン	1.68 - 3.67	pg/mL	
FT-4	遊離サイロニン	0.70 - 1.48	ng/mL	
PSA	前立腺特異抗原	4.0 以下	ng/mL	前立腺腫瘍診断補助検査 前立腺組織に特異的で前立腺癌の早期発見や治療経過観察に有用です。
CPR	Cペプチド	0.6-1.8	ng/mL	インスリンを生成する過程で生じる副産物です。抗インスリン抗体によってインスリン測定が困難な場合に有用です。
BNP	ヒト脳性ナトリウム利尿ホルモン	18.4 以下	pg/mL	心機能・循環血漿量の指標検査 主に心臓(心室)から分泌され、体液量や血圧の調節に重要な役割を果たす物質です。心疾患の重症度を反映します。
NT-ProBNP	ヒト脳性ナトリウム利尿ホルモン前駆体N末端フラグメント	55.0 以下	pg/mL	心不全の検査 ホルモンの一種で心臓の機能が低下して心負荷が大きくなるほど血中に多く分泌され、数値が高くなります。
トロポニン I	トロポニン I	26.2 以下	ng/mL	心筋梗塞の検査 心筋や骨格筋に存在する筋原線維蛋白です。急性心筋梗塞発症後、2~5時間後には高値となるため早期診断マーカーとして有用です。
RF	リウマチ因子	15 以下	IU/mL	関節リウマチに対する診断および治療効果の判定検査 膠原病や慢性炎症性疾患でも陽性になることがあります。
HBsAg	HBs 抗原	(-) 0.05 未満	IU/mL	肝炎ウイルス関連検査 B型肝炎ウイルス外被の表面抗原です。HBs 抗原陽性は現在のウイルスの感染を、抗体陽性は過去の感染既往を意味します。
HCVAb	HCV抗体	(-) 1.0 未満	S/CO	肝炎ウイルス関連検査 C型肝炎ウイルス感染後、早期に陽性となります。過去に感染既往がある場合も陽性になります。
HIV-Ab・Ab	ヒト免疫不全ウイルス	(-) 1.0 未満	S/CO	ヒト免疫不全ウイルス(HIV)の検査 後天性免疫不全症候群(AIDS)の原因ウイルスでHIV感染で陽性となります。
TPAB	トロポネーマリウム抗体	1.0 未満	S/CO	梅毒の検査 性行為感染症(STD)の一種である梅毒の抗体価を検査します。 梅毒、自己免疫性疾患、肝疾患、抗リ脂質抗体症候群で陽性となります。
HTLV1	ヒトT細胞白血病ウイルス-1型	(-) 1.00 未満	S/CO	成人T細胞性白血病の検査 成人T細胞白血病の原因ウイルスに対する抗体です。成人T細胞性白血病、T細胞性悪性リンパ腫などで陽性となります。

血液項目	名称	基準範囲	単位	検査内容	
RBC	赤血球	男 435 - 555 女 386 - 492	万/ $\mu$ L	末梢血液一般検査の一つ 1 $\mu$ L中の赤血球の数量を示したものです。基準値より低い場合は貧血が疑われます。	
WBC	白血球	3,300 - 8,600	$\mu$ L	末梢血液一般検査の一つ 1 $\mu$ L中の白血球の数量を示したものです。細菌感染や炎症で上昇します。	
WBC 分画	Seg 好中球	32 - 73	%	白血病を疑った場合や、感染症、各種炎症性疾患を推定するときに検査	白血球中の好中球の割合です。感染症や炎症などで増加します。
	Eogino 好酸球	0 - 6	%		白血球中の好酸球の割合です。アレルギー反応に関わっていて花粉症などで増加します。
	Baso 好塩基球	0 - 2	%		白血球中の好塩基球の割合です。アレルギー反応に関わっています。
	Mono 単球	0 - 8	%		白血球中の単球の割合です。免疫系・炎症系に関わっており、結核など感染症で増加します。
	Lympho リンパ球	18 - 59	%		白血球中のリンパ球の割合です。免疫機能に関わっておりウイルス感染などで増加します。
Hb	ヘムoglobin	男 13.7 - 16.8 女 11.6 - 14.8	g/dL	末梢血液一般検査の一つ 血液100mL中に含まれる色素(Hb)量を示したものです。基準値より低い場合は貧血が疑われます。	
Ht	ヘマトクリット	男 40.7 - 50.1 女 35.1 - 44.4	%	末梢血液一般検査の一つ 血液中に含まれる赤血球の割合を示したものです。基準値が低い場合は貧血、高い場合は赤血球増多症が疑われます。	
MCV	平均赤血球容積	85 - 102	fL	貧血の検査 赤血球1個の平均の大きさを表します。大きさが小さければ小球性貧血、大きければ大球性貧血に分類されます。	
MCH	平均赤血球色素量	25.0 - 34.0	Pg	貧血の検査 赤血球1個に含まれるヘムoglobinの量を表しています。	
MCHC	平均赤血球色素濃度	31.0 - 36.9	g/dL	貧血の検査 赤血球に含まれるヘムoglobinを%で表しています。	
PLT	血小板	15.8 - 34.8	万/ $\mu$ L	末梢血液一般検査の一つ 1 $\mu$ L中の血小板の数量を示したものです。基準値より低い場合は出血しやすくなり、高すぎると血栓ができやすくなります。	
Ret	網状赤血球	8 - 23	%	貧血症の鑑別（骨髓造血の指標）検査 網状赤血球は骨髓から末梢血に入ったばかりの幼若赤血球です。	
PT	プロトロン時間	10.5 - 13.5	秒	出血したときに血液が固まる過程（止血機能）の異常を調べる検査	血液が固まるまでの時間です。利尿剤による経口抗凝固療法のモニタリング検査としても用いられている。
APTT	活性化部分トロンボプラスチン時間	24 - 36	秒		血液が固まるまでの時間です。抗リウマチ療法のモニタリング検査としても用いられている。
フィブリノーゲン	フィブリノーゲン	200 - 400	mg/dL	フィブリノーゲン量の検査 止血機構の最終段階にある重要な凝固因子で、血小板形成にも関与しています。また、炎症により増加もします。	
D-ダイマー	D-ダイマー	1.0 以下	$\mu$ g/mL	血栓症の検査 血管の中で血栓（血の塊）ができた場合にそれを溶かす作用を持った蛋白です。	
FDP	フィブリノゲン分解産物	5.0 未満	$\mu$ g/mL	血栓症の検査 血管の中で血栓（血の塊）ができた場合にそれを溶かす作用を持った蛋白です。	